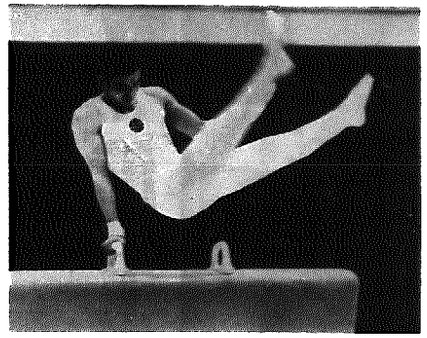
モスクワ五輪へ〝ウルトラC〟

# 〝美技〟に観衆・生徒もすっかり魅了

日本体操会のホープ、青葉綾子（世界選手権出場）選手ら五人が、三月十日(土)・三栗崇監督に引きいられ来町、総合体育館で、模範演技と・小・中・高生徒を対象に実技指導が行われました。

一行は機具の点検を行ったあとさっそく、技の説明と模範演技にうつり、ウルトラCを次々と披露観衆や生徒を魅了、また女子選手の美しい演技に館内は、おしみない拍手でいっぱいでした。

このあと実技指導にうつり、直立倒立などの基本を重点に行い、三栗監督は「くせを直すのは、今が大切です。鉄は熱いうちに打つのと同じ」と強調し 短時間ではあったが生徒は真剣に耳をかたむけ、熱心に指導を受けていました。



▲美しい演技を公開する選手

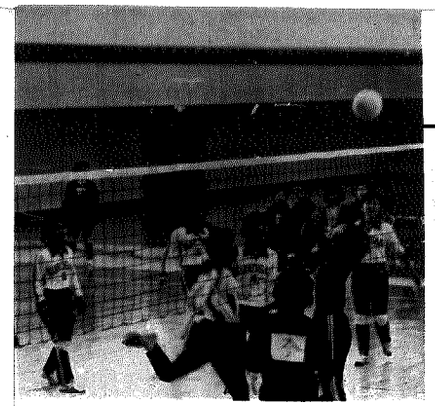
# 西蒲原郡婦人バレーボール大会で黒埼チームが優勝

家庭婦人のスポーツへの関心を高めると共に、バレーボールの実践活動を通して、健康な心身の保持ともう一つ美容もと?郡内婦人の親睦をはかる目的で、三月四日(日)本町総合体育館を会場に華やかに大会が開かれました。

今大会は、郡公民館連絡協議会の主催によるもので、郡内から十二チーム、百五十人の選手が一堂に会し、予選ブロック、決勝トーナメント方式で争われ、熱戦につぐ熱戦を展開し、本町Aチームが見事優勝をかざりました。

成績は次のとおりです。

優勝　黒埼Aチーム
二位　弥彦村チーム
三位　分水若竹チーム



▲熱戦を展開する、ママさん選手

# 学童に健全なスポーツを!!

黒埼町教育委員会では、楽しいスポーツ活動を通じて、学童の健全な育成を推進するため、スポーツ教室を開設します。

対象者　町内の小学校四・五、六年生（男、女）
指導種目　体操、卓球、バドミントン、その他
日時　毎週土曜日　午後一時三十分から
場所　総合体育館
会費　年間　千円
主催　黒埼町教育委員会
申し込み　四月三十日までに総合体育館まで
TEL　(7)5211

# 確定申告を間違えたり忘れたときは

**○少なく申告していたとき**
所得金額や税額の計算を間違えたため、納めた税金が少なかったり、戻った税金が多過ぎたときには、すぐ修正申告をして、正しい金額に直してください。
早ければ早いほど延滞税などの負担が少なくてすみます。

**○納め過ぎていたとき**
所得金額や税額の計算を間違えて、税金を納め過ぎていたり、戻った税金が少なかったりしたときには、更正の請求により、正しい金額に訂正することができます。
更正の請求ができる期間は一年間ですが、早く手続きをしておけば、税金も早く戻ります。

**○申告を忘れたとき**
うっかりしていて確定申告を忘れた人は、すぐ申告して納税をすませてください。

**○用紙などは税務署に**
「確定申告書」「修正申告書」「更正の請求書」などの用紙は、税務署にあります。

# 上水道に加入金制度を新設

上水道事業に、四月一日から加入金制度が新設されました。

この加入金制度は給水装置の新設工事や、給水装置引込管の増設工事（メーターの口径を大きくした場合に限る）の申込者から、取付するメーターの口径別に、表のような加入金を申込時に一時金としていただく、という制度です。

今までは、水道施設の拡張などのために要した費用は、すべて水道料金として、一率に利用者の負担となっていたため、これが直接料金の高騰化をまねき、一面では現在の利用者が長期にわたって、莫大な資産をつくり、これを維持管理してきたにもかかわらず、料金は新・旧の利用者が同一であった、という不合理を生み出していました。これを改善するために設けられたのが、加入金制度です。

みなさんのご理解とご協力を、お願いいたします。

**加入金**

| メーターの口径 | 加入金の額 |
|---|---|
| 13 ミリメートル | 22,000円 |
| 20 ミリメートル | 54,000円 |
| 25 ミリメートル | 81,000円 |
| 40 ミリメートル | 210,000円 |
| 50 ミリメートル | 330,000円 |
| 75 ミリメートル | 740,000円 |
| 100 ミリメートル | 1,320,000円 |
| 125 ミリメートル以上 | 管理者が別に定める |





# 黒中が県薬剤師会から表彰

## 学校の環境衛生の改善で

黒埼中学校が、新潟県薬剤師会（会長近藤禄郎）から、学校環境衛生の維持、改善に努力したとして、県下小中学校九か校の一校に選ばれ、三月十日・新潟市白山会館において表彰を受けました。

本校は昭和五十一年から五か年計画で、校舎内の清掃はもちろん生徒らが卒先して、木造校舎の腰板・窓ワクの塗装・校庭の美化運動を実施、また、奉仕活動による新大野駅前の草刈りなど、積極的に行った種々の実績が認められたもの。なお計画最終年が、本年度から実施される校舎建設完成年にあたることから、なお一層、環境の美化がはかれると、学校側では話していました。

▲新大野駅前の草刈り奉仕をする生徒

# 川は私たちの〝宝〟

## ゴミや空缶は絶対に捨てないよう

四月一日から四月三十日まで、「河川美化月間」です。

川は私たちの生活にはなくてはならない大切なものです。大量の雨水を安全に流下させて水害を防ぐことはもとより、昔から計りしれない恩恵を受けています。

また、魚つり、川遊び、川べりでの草花つみ、昆虫採集など自然に親しむ場を提供してくれるほか

本町では、河川敷を利用し、児童交通公園や老人福祉菜園などを建設し、憩いの場所として、私たちの生活に欠かせないようになってきています。

しかし、一方では心ない人達のため、依然として川へゴミを捨てる人があとを断たず、中ノ口川や信濃川の岸辺に、ビニール類や木材などが溜っており、衛生面からも好ましくありません。

私たちの生活に直結する川を汚すことは、私たちの生活自体を汚すことになるのです。「私一人ぐらい捨ててもわからんだろう」という考えは絶対にやめ、きれいな川、美しい川にしてほしいものです。

▲心ない人のためにこんな状態

# 土地改良の先覚者 武田源助氏逝く

西蒲原土地改良区理事、村助役民生委員、保護司、選挙管理委員長など、数々の要職にあった、武田源助氏85（木場八割）は、三月二十三日、午前七時四十分、他界されました。

氏は、昭和二十六年西蒲原土地改良区監事をかわきりに、三十二年には黒埼支所長に就任、生前まで農業用用排水路の改良・耕地の整備に卒先し尽力され、今日の乾田化された美田も氏の卓越した手腕によるもので地域住民から厚い信望を一身に集めていました。

また、選挙管理委員長十五年間「明るく正しい選挙」運動の推進につとめ、常に選挙の浄化を提唱し、その努力も大きなものがあります。

昭和五十二年の秋の叙勲に「黄綬褒章」を受けられるなど、数々の表彰を受け、高齢を感じさせない活躍ぶりは多くの人から高く評価され、そのご遺徳がおしまれています。

## 三月の短歌　短歌会

庭池の覆を除けば錦鯉早春の陽にまぶしく動く　松沢　虎男
山脈の雪初春の光うけ晴たる野辺に鵯飛び交ふ　柏　直樹地
風かなとふと見つめれば咲きそめし椿の枝に鳩の巣ごもる　阿部　浄子
三才の孫の裸に四五分の乾布まさつが日課となりぬ　泉井　ヨ子
やわらかき陽ざしをうけて子らとゆく残雪の中雪間草あり　小出美喜子
雛段の前に座りて白酒を二才の曽孫は舌鳴らし飲む　青木　留吉
つきつめて思うことなき齢にて座して喰らひば燃ゆるものなし　酒井　庄平
屋根を葺く人等が瓦たたく音ひびきて春の空晴れあがる　平松清次郎
丸き背をどてらで包みて母の打つ打豆の音に湿もりている　西潟たみ子
父死にし齢を一つ越えたりと炉ばたに一人しみじみ思う　小林　弘
三十一年勤めし職を退きて草の芽萌ゆる郊外に立つ　長谷川四郎